

# Q-NITTO海外法人だより～台湾～

2024年11月 Vol. 10

## 《台湾の祭りと風習》ご紹介

### 《地理環境》

台湾は中国、日本、東南アジアの間に位置しており、世界中の船舶が航行する際の停泊地や貨物の積み替え基地として利用するのに便利です。このような地理的条件により、台湾の歴史上、多くの文化の融合が見られました。

### 《歴史背景》

台湾の歴史には、先住民、中国の福建人と客家人、オランダ人、スペイン人、日本人が関係し、台湾に住む人々は伝統文化の保存に注意を払いつつも、徐々に新しい文化を発展させてきました。

### 《お祭りの紹介》

中国からの移民による伝統的な祭りと、先住民族による収穫祭、そして地元の習慣を統合し、歴史の中で進化する地元の民俗行事に分けられています。祭祀の多くは、「先祖を祭る」「祈願をする」「災いを取り除く」「団らん」「収穫を祝う」「文化の継承」といった性質のもので、

中国人移民によるお祭りでも最も重要なのは春節、端午節、中秋節、清明節の4つです。

そして最も有名な民間伝承の祭典は媽祖巡礼です。中国文化の影響を受けたため、台湾のお祭りは旧暦に基づいた日付を使用しています。

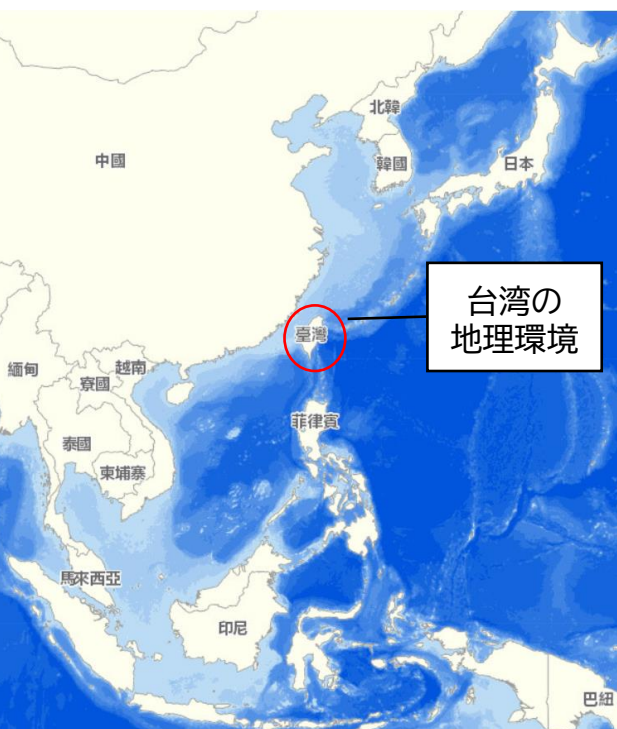
先住民文化における収穫祭は、民族ごとにさまざまな方法で祝われます。

前回の海外法人だよりでは紹介しきれなかった台湾のお祭りを紹介します。

### 【春節(旧暦1月1日)】

春節期間中は、先祖へのお祈り、寺院参拝、春聯を張り付ける、お年玉をあげるなどのイベントが行われます。家族団らんの休日です。日本のお年玉とは違い台湾では赤い袋が使われます。

台湾では赤は喜びと縁起の良さを意味するからです。



### 【媽祖巡礼(旧暦3月3日)】

媽祖は中国の民間信仰における海の女神です。台湾は海に囲まれた歴史的な発展の背景があるため、台湾には媽祖廟が数多くあります。

巡礼は聖像回遊や神様を迎える集会とも呼ばれ、日本の習俗においては御神幸祭に相当します。





### 【端午節(旧暦5月5日)】

伝統的な信仰では、疫病を追い払うための祭りです。

当日は色んな行事が行われます。ドラゴンボート漕ぎ、香り袋の着用、チマキを食べるなどがあります。

台湾のちまきは、白米に豆餡、緑豆、小豆、塩辛いアヒルの卵、ピーナッツ、栗、トウモロコシ、キノコ、干しエビ、豚肉など、さまざまな具材を包んだ食べ物です。竹の葉に包んで蒸して食べます。



### 【中元節(旧暦7月15日)】

台湾の「お盆」とも呼ばれる中元節は仏教に由来し、日本にも同様の祭りがあります。神様や先祖を祭り、無縁仏に供物を捧げます。台湾では、寺院で儀式を行って食べ物やその他のお供え物を捧げる習慣があります。

### 【中秋節(旧暦9月15日)】

この日は家族団らんのお祭りで、月見、提灯、月餅と「文旦」(ブンタン)という果物を食べ、BBQをします。

BBQで中秋節を祝う習慣は台湾独自のものです。その起源は二つあると言われています：

①数十年前にある醤油会社が焼肉のタレのテレビCMで「一家烤肉、万家香(一家で焼き肉、万家香)」というフレーズを出しました。その後、他社も相継いで中秋節に関連したCMやプロモーションを打ち出しました。CM広告の影響で、台湾では中秋節といえばBBQを思い浮かべます。

②中秋節にBBQをするのは新竹という町で最初に行われたそうです。数十年前、台湾のほとんどのオーブンは新竹で生産されていました。しかし当時は輸出ビジネスがうまくいかなかったため、国内販売に切り替えました。中秋節に自宅の庭や景色の美しい広場にオーブンを設置し、満月やBBQを楽しみながら家族で祝う習慣が徐々に広がっていったようです。

現在は中秋節になると、各家庭が家の前や屋外でBBQをする光景が見られます。一番人気の食べ方は、タレのつけた焼肉やさまざまな食材をトーストに乗せることです。美しい月明かりと共に美味しい料理を楽しむことが、台湾人にとって中秋節にBBQをする一番の理由です。



### 【先住民の収穫祭(新暦7月~10月)】

台湾先住民族の古くから伝わる伝統的なお祭りで、一ヶ月間続きます。民族が異なれば、異なる時期にイベントが開催されます。

通常、歌や踊りなどのイベントが行われます。よく見られるお祭りには、成人祭り、歓迎踊り、収穫踊り、農業踊り、釣り祭りなどがあります。

